

J O C S 祈りの花束

2021年2月

今月のことば：人々が近づけば近づくほど、神との距離も縮まります。(ガザのドロテウス 六世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1 新型コロナウイルスによって困難な状況におかれている方々、そして対応に関わるすべての保健医療従事者のため	2 JOCSの会員のため(特に埼玉県の会員のため。現在146名)	3 会員・支援者の増強のため	4 冬期募金のため	5 国際保健医療勉強会のため。講師の柳澤理子さんのため(本日オンラインで開催)	6 地区JOCSの働きのため
7 事務局スタッフのため	8 使用済み切手収集活動のため	9 オンラインによる諸活動の充実のため	10 タボラ大司教区保健事務所のため(雨宮春子さん派遣先・タンザニア)	11 信教の自由が、どこにおいても守られるように。信仰の多様性を認め合うことができるように(本日、信教の自由を守る日*1)	12 アナンダバン病院・タンセン病院・オカルドウガ病院のため(ネパール)(感染症に関する緊急医療活動支援先)	13 岩本直美さんのため(バングラデシュ)
14 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	15 会報誌「みんなで生きる」のため	16 雨宮春子さんのため(タンザニア・現在国内で活動中)	17 生活をシンプルにすることによって苦悩する人々と共に歩めますように(灰の水曜日。本日からレント・四旬節)	18 JOCSの奨学生のため(特にインドの奨学生のため。現在2名)	19 シナルカシ病院のため(インドネシア)(感染症に関する緊急医療活動支援先)	20 新型コロナウイルスに対する公正な医療アクセスのため
21 すべての人の母語とその文化が尊重されるように(本日、国際母語の日*2)	22 カイラクリヘルスケアプロジェクトのため(バングラデシュ)(感染症に関する緊急医療活動支援先)	23 シオアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)	24 新しいワーカーが与えられるように	25 ワーカーの安全のためバングラデシュの治安のため	26 JOCSに協力するボランティアの方々のため(自宅待機中)	27 財務委員会のため(本日委員会開催)
28 ラルシュ・マイメンシンのため。新しいリーダー候補者のため(岩本直美さん派遣先)	*1:日本キリスト教団・バプテスト連盟などの諸教会で制定された日。 *2:International Mother Language Day(ユネスコが制定した国際デー。1952年、当時パキスタンの一部であったバングラデシュで起きたベンガル語公用語化運動に由来する。)					

祈りの項目

岩本直美ワーカーより：空腹と寒さのために苦しんでいる人たちのために。



みことばの黙想 2021年 2月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、出典箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（月） ヨハネ 8:28-36
イエスは言われた。「わたしは自分勝手には何もせず、ただ、父に教えられたとおりに話している。わたしをお遣わしになった方は、わたしと共にいてくださる。」

2日（火） ルカ 2:22-40
† 主の奉獻
幼子イエスを神殿に献げたのち、両親は幼子とともに自分たちの町であるガリラヤのナザレに帰った。幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。

3日（水） エレミヤ 31:23-25
主は言われる。「わたしは疲れた魂を潤し、衰えた魂に力を満たす。」

4日（木） コロサイ 3:8-11
あなたは、造り主の姿に倣う新しい人を身に着けます。そこでは、人々の間に区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにおられるのです。

5日（金） 詩編 51
神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊を授けてください。

6日（土） ヨハネ 5:24-27
イエスは言われた。「わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。」

7日（日） マルコ 1:29-39
朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。弟子たちはイエスを見つけると、イエスは弟子たちに言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。」

8日（月） 詩編 94:14-22
「足がよろめく」とわたしが言ったとき、主よ、あなたの慈しみが支えてくれました。

9日（火） 1テサロニケ 5:12-22
だれも、悪をもって悪に報いることのないように気をつけなさい。お互いの間でも、すべての人に対しても、いつも善を行うよう努めなさい。

10日（水） マタイ 19:27-29
イエスは言われた。「わたしのためにすべてを捨てた者は皆、その何倍もの報いを受け、永遠の命を受け継ぐ。」

11日（木） ヤコブ 1:22-25
ヤコブは記す。「御言葉を行う人になりなさい。聞くだけで終わる者になってはいけません。」

12日（金） ローマ 14:7-15
わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです。

13日（土） 1コリント 1:10-13
皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。

14日（日） マルコ 1:40-45
重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、言った。「御心ならば、わたしを清くすることがおできになります。」イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、言われた。「よろしい。清くなれ。」

15日（月） 詩編 130
主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら、主よ、誰が耐え得ましょう。しかし、赦しはあなたもにあり、人はあなたを畏れ敬うのです。

16日（火） 申命記 4:29-31
あなたの神、主は憐れみ深い神であり、あなたを見捨てることはない。

17日（水） マタイ 6:1-6
† 灰の水曜日
イエスは言われた。「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

18日（木） 1コリント 2:12-16
わたしたちは、世の霊ではなく、神からの霊を受けました。それでわたしたちは、神から恵として与えられたものを知るようになりました。

19日（金） ルカ 4:1-13
イエスは悪魔に言われた。『「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ」と書いてある。』

20日（土） フィリピ 4:12-20
パウロは記す。「わたしは、自分の置かれている境遇に満足することを習い覚えました。わたしを強めてくださるキリストのお陰で、わたしにはすべてが可能なのです。」

21日（日） マルコ 1:12-15
イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、言われた。「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」

22日（月） マタイ 6:31-34
イエスは言われた。「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。明日のことまで思い悩むな。」

23日（火） ヘブライ 13:14-19
善い行いと施しとを忘れないでください。このようないけにえこそ、神はお喜びになるのです。

24日（水） 2テモテ 1:12-14
パウロはテモテにこう書き送った。「あなたにゆだねられている良いものを、わたしたちの内に住まわれる聖霊によって守りなさい。」

25日（木） ヤコブ 2:1-5
神は世の貧しい人たちをあえて選んで、信仰に富ませ、御自分を愛する者に約束された国を、受け継ぐ者となさったのです。

26日（金） ヨハネ 8:31-36
イエスは言われた。「罪を犯す者はだれでも罪の奴隷である。奴隷は家にいつまでもいるわけにはいかないが、子はいつまでもいる。だから、もし子があなたたちを自由にすれば、あなたたちは本当に自由になる。」

27日（土） ローマ 12:1-13
パウロは記す。「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるかをわきまえるようになりなさい。」

28日（日） マルコ 9:2-10
イエスは、弟子たちの前で姿を変えられた。すると。雲が彼らを覆い、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。これに聞け。」
